

ひだまり

発行所
聖愛園
〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
FAX 0598-49-3783



第12回 聖愛園夏祭り 盛大に開催

平成22年
7月11日

利用者さん・保護者の方々・ボランティアの方々みんな一緒に盆踊り

七月十一日(日)、聖愛園夏祭りを盛大に開催しました。雨が降ったり止んだりの生憎の天候でしたが、威勢の良い掛け声とともに神輿が登場すると、祭りの雰囲気が一気に高まりました！
最初に、日頃より練習に励んだ利用者さん全員による合奏・合唱です。手話による『手のひらを太陽に』、夏の唄として『うみ』『トンボのめがね』『しゃぼん玉』を合唱し、『大きな栗の木の下で』は振り付けで歌い、最後に『おもちゃのチャチャチャ』を鈴で合奏しました。
続いては、ボランティアで来ていただいた『人形劇団おたまじゃくし』の皆さんによる人形劇『パペットファンタジー』を全員で観劇しました。楽しい音楽に合わせた人形劇で、利用者さんも手を叩いて喜ばれたり一緒に歌ったりと楽しんで見て頂いていました。休憩時間にはジュースとロールケーキを食べ、ご家族の方と楽しい時間を過ごされていました。

最後はやはり夏祭りには欠かせない盆踊りです。勢和音頭保存会の方達を中心となり恒例の『勢和音頭』『東京音頭』『炭坑節』をはじめ、その場で教えていただいた荻野目洋子さんの『ダンシング・ヒーロー』に合わせたダンスを、利用者さんはもちろん、ご家族、職員もノリノリで踊りました！
今年も夏祭りを無事に終えることが出来て本当に嬉しく思います。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。

手話の神輿！



利用者さんと職員が力を合わせて作った聖愛園の神輿！威勢の良い掛け声と共に祭りを盛り上げました！

生活支援員
夏祭り担当
弓木昭人



みんなで合唱



人形劇



ご家族の方と団らん

楽しい出し物が一杯！！

大規模災害に 備えての取り組み

朝の天気予報で、午後から雨が降るといふことならたいいていの人は雨具を用意して出かけると思います。

東海大地震につきましては、近い将来確実に起きるといふ報道がなされており、準備をしないほうがおかしい、まして聖愛園のように重度の障がいをお持ちの利用者さんをお預かりしている施設にとりましてはそれなりの備えを怠るわけにはいきません。

平成二十二年三月に、全国社会福祉施設経営協議会が、福祉施設における事業継続計画のガイドライン（地震対策編）を発刊し、近頃三重県社会福祉協議会から複製印刷版を頂戴いたしました。

昨年の夏を思い起こしてみますれば、新型インフルエンザの流行で世界中が奔走していました。夏休みが終わり、九月に新学期が始まると重大な事態が予想されるといふことから、利用者さんとはもとより、支援する職員の多数が罹患した場合、調理員が罹患し給食を作る事が出来ない場合等を想定し、事業継続計画を策定したのでございますが、あくまでもインフルエンザ用であつて、地震には対応出来ていません。

現在、聖愛園は一週間分の食料とオムツ等それなりの地震対応の備品を用

意しています。全国経営協のガイドラインを読み、数多くの資材が不足することを学ばせていただいたところで、ガイドラインの中に、「行政による支援が機能するまで、少なくとも三日間はかかるもの」と考えられます。福祉施設においては、最低でも三日間は自力でサービスを継続できるように事前の準備を進めることが求められます。」ということが書かれています。

「東海大地震は、東南海地震また南海地震が連動して起こる可能性がある。もし、それが現実となった場合、日本列島の広範囲に渡って津波の被害が予想されるわけで、自衛隊やボランティアによる支援は沿岸部に集中し、紀伊半島の内陸部にある私達の施設については、長期間自力で生き延びることを考えておかなければならない。」と以前に聞いたことがあります。

園舎につきましては、鉄骨造りで簡単に倒壊することはないと思われませんが、高い位置にある窓ガラスは割れて下に落下する恐れがありますので、内側からシールを張る工事を実施しました。また、ガスが使用出来ないことを想定し、かまどで薪を炊いて給食を作る訓練等も行い、ある程度準備を進めています。食料や寝具については職員の分や応援に駆け付けて下さるボランティアや保護者の方のものも必要であるし、施設内に仮設トイレ等を作ることや支援に携わる者の宿泊場所も必要になると思われまます。全社協のガイドラインを参考に、早急に事業継

統計画（地震対策用）を策定したいと考えています。

資材備蓄用 倉庫を建設中

現在、地震を初めとする大規模災害に必要な資材を備蓄するための倉庫を建設中で、八月末には完成予定となっております。これまでだけ準備してもこれで安心というわけにはいきませんが、職員や保護者の皆さまのご意見も拝聴し、あらゆる事態を想定し、資材の確保に努める所存でございますので、皆様におかれましては、ご教授またご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後に、暑さ厳しき折、くれぐれもご自愛いただきますようご祈念申し上げます。

施設長 戸野和雄



建設中の2階建て倉庫

新たなスタートにあたり

四月より新たにサービス管理責任者という大役を仰せつかり、日々葛藤を繰り返している今日この頃です。

サービスの管理？それは一体、具体的に何をすれば良いの？・・・こんな疑問から始まり、聖愛園に必要なサービス管理責任者ってどんなの？と思ひ悩み、そんな職務の内容も良く消化されていまいまま、さてこんな状況の私に一体どれ程の事が出来るの？と壁にぶち当たる毎日です。せめて自分に来ること、各部署間の連絡がスムーズにいくように走り回ったり（実際は、マイペースな私が走る事はあまりないです・・・）、利用者の方の変化に気を配ったり、今までやってきた事を変わず丁寧に行おう！と思ひ奮闘しています。

自分がこの職務にふさわしいなんて思っていないませんが、利用者さんをはじめ、保護者の方々、関係機関の方、支えてくれる職員さんたち、皆様の力を借りて成長していければと思っています。

「少しはそれらしくなったな」と言ってもらえる日を目指して、勉強をさせていただきます。

サービス管理責任者

押谷葉子



6月19日
四日市ドーム

スポレク祭に参加しました!

六月十九日(土) 四日市ドームにて行われた『2010三重県ふれあいスポレク祭』に参加しました。高速に乗っての久しぶりの遠出という事もあり、参加される利用者さんもワクワク・

ドキドキ。窓の外を見て、行きの車中から会話がはずみました。到着すると、初めは大勢の参加者に圧倒されましたが、一生懸命玉入れをしているうちに次第に雰囲気にも慣れ、他の施設の方々と話したり楽しまれました。一番楽しみにしていたパン食い競争ではみんなの目が輝いていました。



みんなで玉入れ!



スタッフさんと一緒に



輪投げゲームにも挑戦

午後からはレクリエーションゲーム(サイコロゲーム・輪投げ・フライングディスク・フリースローゲーム・ストラックアウト等)が行われました。身体に障害のある方も簡単に出来る様に工夫されていて、入るとお菓子の景品がもらえ、入った嬉しさと景品をもらえる嬉しさとで喜びも2倍でした。音楽発表会などもあり、他施設の利用者さんがイキイキとした表情で太鼓や楽器演奏をしている姿を見て良い刺激を受けました。ゲームを通じて、いろんな方とふれあい沢山の笑顔がみられました。今後もこのような機会があれば積極的に参加していきたいと思えます。

生活支援員 川邊真季



創作活動
協力して作品制作に取り組んでいます!

午後からの時間を利用して、四季折々の行事に合わせて貼り絵と塗り絵の作品を制作しています。紙をちぎる事が好きな人、細かくちぎる人、程良い大きさにちぎる人、丁寧に貼ってくれる人、早く貼る人、隙間があると埋めて直してくれる人、貼り絵より塗り絵が好きの人、時間をかけて完成させる人、量をこなす人、その人それぞれの感性で作品が出来上がります。



を盛り上げました。

生活支援員 田中修

一月は今年の干支の寅を制作、二月の節分には大きな鬼の貼り絵に向かって豆まきをしました。三月は雛祭り、四月の丹生大師春の大祭では桜と鯉のぼりの作品をギャラリーに展示させていただき、多くの方々に楽しんでもらう事が出来ました。六月はあじさいの花、七月は七夕と、また聖愛園夏祭りに合わせて神輿の作品を制作して祭りを盛り上げました。

厨房より

ある利用者の方が時々、調理場に手紙をポイッと投げ込んでいかれる。カクナばかりで書かれた手紙には「いつもお世話になってます」のお礼の言葉と、「おはぎもいよいよいなりもつまいよ。」など好きな食べ物が紙一杯に書かれている。



殆んど施設が、委託業者で食事をしている中、聖愛園は直営の厨房で行っている。調理場からは、食事をされている利用者の方の姿をすべて伺う事ができ、一人ひとりの好みや、その日の体調まで知る事が出来る。「おいしかったよ」と食器を返して下さる人もいて、以前、委託の厨房で働いていた私にはその一言は励みにもなる。

利用者の人達とコミュニケーションをとりながら食事が楽しくなればいいと思う。

直営の利点を生かし、直営である事に甘えず、緊張感を持って喜ばれる食事作りに携わっていきたいと思う。

調理員 油田雅子



『排便コントロールの大切さ』

日常生活の中で、食べられる事・便が出る事・眠れる事が大切な事の柱と言えるでしょう。特に私は排便を重要視しています。

利用者さんの中にはどれだけ排便があっても、お腹の手術を受けた事があり、癒着（腸管同士がくっついたり、内腔が狭くなっている場合）によって内容物の通過障害を起こす腸閉塞（イレウス）となり何度も入院を余儀なくされる方もあります。また単純な便秘による腸閉塞もあり、安心はできません。

排便コントロールをしていくうちに、利用者さんから『便出たよ！』と教えてくれます。ジェスチャーで教えてくれる方もいます。私も一緒に喜び、一日の生活が安全に始まるんだ！と感じる瞬間です。

運動不足になりがちの方には便秘体操を。車椅子をご利用の方のレクリハ（レクリエーション）とリハビリを組み合わせた機能訓練）では、腸刺激につながるような体操を取り入れています。

薬で調節する方にはなるべく多目の水分で腸を動かし、便意の兆しがあればじっくり排便タイムをとってもらおう。ここに支援部の協力が大きいのです。便秘イコール浣腸が必要な時もありますが、薬の力を借りるならその力を有効に活用して、なるべく自分の力で排便をと思うのです。『看護婦さん、便の事ばかり！』という声もありますが大いに嬉しいです。

排便があつて気持ちよくその日が送れ、心も安定して表情も自然に豊かになれると実感しているのは少しオーバーでしょうか？

医務室 看護師

あじさいまつり

多気町丹生地区のあじさいまつりに保護者・職員・聖愛園のホームページを見てご寄附いただいた方々の品物を不用品バザーとして出店しました。



当日は天候も危ぶまれていましたが、予報通りの天候になり降ったり止んだり足元の悪いスタートになりました。お店づくりも大変になってしまいました。テントの屋根から車にシートをかけ、保護者の方々とワイワイ言いながら、物を置く場所を工夫したりして、なんとか良いお店が出来ました。保護者の方・職員の売り込みも中々のもので、かなり値切りもされ、完売とまではいきませんが

でしたが、地域の皆さんと和気あいあいとした雰囲気の中で販売する事が出来ました。終了時には雨も強くなりずぶ濡れになりながらの片付けとなりました。園に戻ってからも持ち帰った品物を職員にも買っていただき、沢山の収益を上げることが出来ました。売上代金は利用者さんのおやつ購入に使わせていただきたいと思います。

支援部主任 古谷静



聖愛園で
早い年



うとしています。

専門的な知識や技術と豊かな人間性を備えた質の高い人材への期待が高まっている昨今、福祉組織を構成する一員として自覚と意識を持ち、組織の中の円滑な協力・連携関係を作る事に努めながら、一社会人、一組織人として業務を的確に遂行していく重要さを学びました。

まだまだ仕事に対して若輩者ですが、常に利用者さんのニーズに目を向け、満足していただけるサービスを提供し、集団としての秩序を維持し、自分の担当業務は責任を持って遂行していきたいです。

自分から見ても、周りから見ても、まだまだ一年。常に進歩を求めて努力していく次第であります。

生活支援員

加藤英剛

（ご芳志ご芳名（敬称省略））

自平成二十二年一月十八日
至平成二十二年七月十二日

物品寄付ご芳名（敬称省略）

保護者会・本多師子・伊川美義
西村郁三・中川和子・㈱マルエイ

海住美智子・村口喜代時・伊藤福美
神廣かよ・加藤八洲和・山川英彦

水谷英男・平山啓子・浅野弘
西村郁三・武田スミヨ・西秋治

大谷勲・馬野すゑの・尾上薫
粉川幸子・樫尾智仁・伊川美義

堀内美志子・本田敏・山野弘子
岸川みち子・磯田多恵子・森田知恵子

中野数見
山口英子・岡本祐真（神宮寺）

長谷山学園・㈱内金・小山㈱
㈱マルエイ・フリーフラワー

とみやま外科内科医院・コスモ美容室
児童デイサービス心きらきら

弓木秀男・辻川誠
加藤珠美・小林俊子・戸野和雄

（他にも匿名で品物を頂戴しております。）

（他にも匿名で品物を頂戴しております。）

編集後記

「機関紙ひだまり」は、日々の聖愛園の活動や取り組みを報告させていただいております。ご意見・ご感想等お待ちしております。聖愛園HPも宜しければご覧下さい。

平成21年度 聖愛園 決算書

聖愛園

貸借対照表				事業活動収支計算書	
資産の部		負債の部			
流動資産	72,008,268	流動負債	3,239,509	事業活動収入	254,928,512
固定資産	273,727,867	固定負債	66,309,834	事業活動支出	191,983,208
基本財産	173,915,079	設備資金借入金	60,000,000	事業活動収支差額	62,945,304
その他の固定資産	99,812,788	退職給与引当金	6,309,834	事業活動外収入	1,944,743
				事業活動外支出	1,845,000
		負債の部合計	69,549,343	事業活動外収支差額	99,743
				経常収支差額	63,045,047
		純資産の部		特別収入計	
		基本金	50,000,000	特別支出計	2
		国庫補助金等特別積立金	106,324,872	特別収支差額	-2
		その他の積立金	40,055,155	当期活動収支差額	63,045,045
		次期繰越活動収支差額	79,806,765	前期繰越活動収支差額	40,800,760
		うち当期活動収支差額	63,045,045	当期末繰越活動収支差額	103,845,805
		純資産の部合計	276,186,792	その他の積立金積立額	24,039,040
資産の部合計	345,736,135	負債及び純資産の部合計	345,736,135	次期繰越活動収支差額	79,806,765

聖愛園短期入所

貸借対照表				事業活動収支計算書	
資産の部		負債の部			
流動資産	332,512	流動負債		事業活動収入	862,965
		固定負債		事業活動支出	
				事業活動収支差額	862,965
		負債の部合計		事業活動外収入	424
				事業活動外支出	1,300,000
				事業活動外収支差額	-1,299,576
		純資産の部		経常収支差額	-436,611
		次期繰越活動収支差額	332,512	特別収入計	
		うち当期活動収支差額	-436,611	特別支出計	
		純資産の部合計	332,512	特別収支差額	
資産の部合計	332,512	負債及び純資産の部合計	332,512	当期活動収支差額	-436,611
				前期繰越活動収支差額	769,123
				当期末繰越活動収支差額	332,512
				次期繰越活動収支差額	332,512